

おわりに

今年も、青少年センターの大きな行事である地域ふれあい活動、そして健全育成市民大会が無事終了した。その中には、毎年の姿ではあるが、子どもたちの活躍した場面が多くあつた。そうした子どもたちの活躍している姿を見たり接したりするたびに、明るくうれしい気持ちになる。そんな思いをしているのは、私一人だけではないであろう。こうした姿を実感できるのも、子どもたちのがんばりはもちろんのこと、総代さんをはじめとする地域の多くの役員の方々のご尽力である。さらに各学校の担当の先生方の努力も大きな要因であろう。一人ひとりの子どもに寄り添う丁寧な指導の結果である。

地域ふれあい活動では、市内47箇所で活動が実施された。残念ながら雨天で運動会が中止となった地域もあったが、どの地区も多くの参加者を得て実施された。それぞれの地域でその特長を生かして取り組んでいることが特にすばらしい。防災をはじめ、夏祭り・草刈り・運動会など、同じような内容でも、方法や取り組み方などで地域それぞれの色があり良さがあった。それまでの多くの方により積み上げられてきたすばらしい青少年の健全育成に係わる実績や伝統の賜物である。

健全育成市民大会では、本冊子でも掲載されている小・中・高の子どもたちの意見発表のすばらしさに感動した参加者も多かったのではないか。内容はもちろんのこと、発表する姿勢などもすばらしいものであった。特に、今年は意見発表の内容のレベルが高く、中には全国大会入賞レベルのものもあり、感動して涙した人も多くいたと聞く。

また、青少年センターの大きな取り組みの一つである子ども若者相談窓口も、順調に市民に周知できてきた。相談者数も増え、1か月平均50件程度がある。しかし、市内には多くの引きこもりやニートの若者がいるのが現状である。こうした若者の一人でも多くが、相談者として来室できるようになればありがたい。現状に満足することなく、目の前の多くの若者に対して、実態に即した地道な対応をさらに進めていきたい。

子どもたちは社会の宝物である。みんなの手で、子どもたち一人ひとりを大きく成長させていかなければならないと考える。

最後に、本年度も青少年健全育成に関わる多くの方々のご尽力により、様々な育成活動が展開できたことに、改めて感謝申しあげたい。

平成30年2月

蒲郡市青少年センター

高橋 茂

＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若き明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発 行 日 平成 30 年 2 月 1 日

発 行 蒲郡市教育委員会

編集・印刷 蒲郡市青少年センター

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17

生命の海科学館内

電話 0533-66-1168

製 本 親和原田プリント株